

ARCH ENEMYの邪悪なる始祖ラインナップ 初期メンバーが結集したメロデス・オリジン!

本年の特別企画“SECRET ACT”枠だが、フタを開けてみれば、“シークレットにするには惜しすぎる”バンドの出演となった!

“Mr. LOUD PARK”とも謳われたマイケル・アモットが2年ぶりに帰ってきた。しかも今回は、“ARCH ENEMYオリジン”とも言えるBLACK EARTHとしてだ。マイケルを筆頭に、ヨハン・リーヴァ(vo)、クリストファー・アモット(g)、シャーリー・ダンジェロ(b)、ダニエル・アーランドソン(d)という、ARCH ENEMYの初期ラインナップという顔ぶれであり、このバンド名が1stアルバム『Black Earth』(1996年)に由来することは言うまでもないだろう。LOUD PARK 15でのARCH ENEMYのショウにて、ヨハン、クリスト

ファーがゲスト参加したことに端を発し、翌年には単独日本公演を行った彼ら。初期3枚(『Stigmata』2nd / 1998年、『Burning Bridges』3rd / 1999年)に的を絞ったセットリストは“苛烈なるデス・メタルと叙情的メロディの融合”という“ピュア・メロディック・デス”の旨味を最大限に抽出したものだと言え、フルハウスとなった会場は強烈な熱気に包まれたのだった。これまでのLOUD PARKにて、先代のアンジェラ・ゴソウ、現在のアリッサ・ホワイト＝グループという稀代の女性シンガーをフロントに据え、大熱狂を生み出してきたARCH ENEMY。その邪悪なる轟音の始祖となるのが、彼らBLACK EARTHなのである! (岡見高秀/ベース・マガジン)

